



## 《共通事項》

### ◆定期的なかん水について

晴天が5～6日(砂を含む土は4日)続いたら20～30mm程度のかん水を行なう。  
10aに1mmのかん水をするには水1,000ℓが必要です。樹冠下に集中して行う。

## 《プルーン・すもも》

### ◆第13回薬剤散布について(お盆前後に収穫になる品種以降)

1. 散布時期:8月2日(土)～8月6日(水) 実際散布日記入 月 日  
 2. 調合量:水100ℓ 当り ※混用順に記載。 ※収穫中の品種に飛散しないよう十分注意する。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
(展着剤まくぴか)	10mℓ	—	—
(オーシャインフロアブル)	33mℓ	灰星病	前日
アーデントフロアブル	50mℓ	シンクイムシ類	前日

3. 散布量:10a当り⇒400ℓ

#### 4. 留意事項

- ①収穫直前の品種は、定期薬剤散布に代えて、収穫前薬剤散布を行う。
- ②果実の汚れを防ぐため、なるべく細霧にして、すぐに乾く時間帯で散布する。
- ③降雨が多い場合、又は、灰星病が多い場合は、オーシャインフロアブルを加用散布する。
- ④オーシャインフロアブルに代えて、アンビルフロアブル1,000倍(水100ℓ当り100mℓ/収穫前日)を使用してもよい。
- ⑤シンクイムシ類・灰星病の発生が多く薬液をしっかりと付着させたい場合は、展着剤を「まくぴか」10,000倍(水100ℓ当り10mℓ)を使用すると、均一に付着しやすくなり乾きが早まるため、液だまりが減少する。
- ⑥アメリカシロヒトリは巣網のうちに捕殺するか、焼却処理する。

### ◆晩生種以降特別薬剤散布について

1. 散布時期:8月12日(火)～16日(土) 実際散布日記入 月 日  
 2. 調合量:水100ℓ 当り ※混用順に記載。 ※収穫中の品種に飛散しないよう十分注意する。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
(展着剤まくぴか)	10mℓ	機能性展着剤	—
パレード15フロアブル	33mℓ	灰星病	前日
サムコルフロアブル10	40mℓ	シンクイムシ類	3日

3. 散布量:10a当り⇒400ℓ

#### 4. 留意事項

- ①収穫まで間が空く品種は、特別薬剤散布を行う。
- ②シンクイムシ類・灰星病の発生が多く、薬液をしっかりと付着させたい場合は、均一に付着しやすく、乾きが早まり、液だまりが減少する展着剤の「まくぴか」10,000倍(水100ℓ当り10mℓ)を使用する。
- ③パレード15フロアブルに代えて、㊸カナメフロアブル4,000倍(水100ℓ当り25mℓ)を使用してもよい。

### ◆収穫前薬剤散布について ※収穫直前の品種に必ず行う。

降雨による腐敗果、高温によるシンクイムシ類の発生が増加するため、収穫前の防除を徹底する。

1. 散布時期: 収穫開始2日前 実際散布日記入 月 日
2. 調合量: 水100ℓ 当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
オンリーワンフロアブル	50ml	灰星病	前日
(㊟スカウトフロアブル)	50ml	シンクイムシ類	前日

3. 散布量: 10a当り⇒350ℓ

#### 4. 留意事項

- ①「収穫前日まで」となっている農薬は、収穫24時間前までに散布が終了する事を意味する。
- ②シンクイムシ類の発生が心配される園は、スカウトフロアブル 2,000 倍を加用散布する。スカウトフロアブルに代えて、ディアナWDG5,000 倍(水 100ℓ当り 20g/収穫前日)を使用してもよい。

### ◆サントス等のしわ果(微裂果)対策について《重要》

サントスやベイラーなどに発生する、「しわ果」は、微細な裂果から、水分が蒸散することによって発生する。このため、対策は通常の裂果対策を実施する事が重要になる。

1. 裂果発生要因: 降雨による果面からの雨水の吸収が主要因。この他にも、根からの吸収も影響される。
2. 対策: 成熟する1ヶ月前頃より、雨除けを実施する事が最も有効。また、土壌水分の急激な変化は発生を助長するため、定期的なかん水を実施し、適度な状態を保つ。この他にも、樹勢が弱い場合は助長されるため、適樹勢を保つ。排水の悪い園は、空中湿度が高まるなど助長されるため、排水対策をする。干ばつになりやすい園は、かん水を少量多回数で実施するなど対策を実施する。

### ◆スモモヒメシンクイの防除対策について《重要》

1. 薬剤防除: 定期防除は散布間隔を守り、散布量・散布ムラなく実施する。
2. 耕種的防除: 園内をこまめに巡回し、樹上の被害果・落果した被害果をすべて見つけ処分する。
3. 処分方法
  - ①被害果を園外に持ち出し、7日以上水漬けし果実中の幼虫を殺す。
  - ②直接、土中に埋める場合は、1m以上深く埋める。浅いと羽化し、再び発生するので注意する。
  - ③厚い肥料袋等に被害果を入れ、羽化成虫が外に飛び出さないよう口を固く結ぶ。レジ袋等は不可。
  - ④放任園や自家用で、防除しないプルーン・すもも等発生源を伐採してもらう。
4. 被害果の特徴
  - ①アメをだす。 ②果面に地図を描く。 ③果面が黄色や紫色に変色。 ④落果している。

### ◆プルーン出荷上の留意点について

下記内容の問題点が毎年出ている。出荷時に注意して下さい。

- ①農薬による汚れのある果実が見られるのでふきとって出荷する。
- ②果実にシンクイムシ、灰星病のものが散見される。⇒ 厳正に荷造りし混入しない
- ③過熟果・未熟果の出荷がある。(農家間の差が意外と大きい)
- ④玉の大きさにムラがある。(同じ大きさを 420g 以上になるように詰める)
- ⑤パック重不足がある。 ⑥異品種の混入がある。 ⑦返品されたものを取りに来ない方がいる。
- ⑧市場に出荷した生産物に被害果が混入し、出荷者が確定できるクレームがあった場合は、例年と同様にその出荷者のクレームとなった数量の精算をゼロとすることになっております。荷造りに際しても厳重に選果して出荷をお願いします。

## 《あんず》

### ◆コスカシバ対策について

杏の場合は、6～10月まではっきりしたコスカシバの最盛期がなく、被害樹は樹勢が弱まったり胴枯病が発生しやすくなる。樹脂と虫糞の混ざっている箇所を削り補殺するか、木づちで叩いてつぶす。(雨上がりが良い)

## 《なし》

### ◆当面の管理について

1. 南水栽培園は、防鳥ネットの設置を行う。(収穫1ヶ月前)

### ◆第11回薬剤散布について

1. 散布時期:8月6日(水)～8月10日(日)

実際散布日記入 月 日

2. 調 合 量:水100ℓ当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
コロマイト乳剤	100mℓ	ハダニ類	前日
エクシレルSE	20g	シンクイムシ類・ハマキムシ類	前日
キノドー顆粒水和剤	100g	黒斑病・輪紋病	3日

3. 散 布 量:10a当り⇒棚栽培450ℓ/立木栽培500ℓ以上

4. 留意事項

①エクシレルSEに代えて、サムコルフロアブル10の2,500倍(水100ℓ当り40mℓ)を使用してもよい。

### ◆なし栽培日誌の提出について

梨(日本・西洋なし)の出荷予定者は、栽培日誌を配布致しますので、下記期日までに提出下さい。

1. 提出期限:8月18日(月)まで

2. 提出場所:直接個人で各流通センター・共選所まで

3. 留意事項

①梨の場合は、有袋栽培用と無袋栽培用が別の用紙(収穫前基準が異なるため)となりますのでご注意ください。

②第11回防除まで記入下さい。漏れ・不備のないように記入下さい。

③栽培日誌をチェックし、法的に問題がある場合は販売できません。

④提出されず出荷された場合は、安全性が確認出来ないため荷受できません。

## 《オウトウ》

### ◆第7回薬剤散布について

1. 散布時期:8月上旬

実際散布日記入 月 日

2. 調 合 量:水100ℓ 当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
展 着 剤	10mℓ	—	—
トレノックスフロアブル	200mℓ	褐色せん孔病	21日
Ⓜダイアジノン水和剤34	100g	カイガラムシ類	14日

3. 散 布 量:10a当り⇒500ℓ

4. 留意事項

①ダイアジノン水和剤に代えて、サイアノックス水和剤1,000倍(水100ℓ当り100g)を使用してもよい。

①ハダニ発生が目立つ場合は、ダニゲッターフロアブル2,000倍(水100ℓ当り50mℓ)を加用散布する。  
なお、開花中の水稲に飛散すると不稔になるため、農薬飛散に十分注意し、使用する。

